【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和3年9月9日(2021.9.9)

【公開番号】特開2020-27165(P2020-27165A)
【公開日】令和2年2月20日(2020.2.20)
【年通号数】公開・登録公報2020-007
【出願番号】特願2018-151484(P2018-151484)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　6/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　6/24

【手続補正書】
【提出日】令和3年7月27日(2021.7.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光接続デバイスであって、
第１リッジを有する第１外部分、第２リッジを有する第２外部分、前記第１リッジと前記第２リッジとによって規定される窪みの底を有する内部分を含む第１部品、前記第１外部分の前記第１リッジと前記第２外部分の前記第２リッジとの間に位置する第２部品、並びに前記第１部品と前記第２部品との間に設けられた接着部材と、を含むホルダと、
前記第１部品の前記底と前記第２部品との間に配列された複数の光ファイバと、
を備え、
前記光ファイバ、前記第１リッジ及び前記第２リッジは、第１軸の方向に延在し、
前記第１外部分、前記内部分、及び前記第２外部分は、前記第１軸に交差する第２軸の方向に順に配列される、光接続デバイス。
【請求項２】
前記第１部品は、前記第１軸の方向に延在する複数の溝を前記窪みの前記底に有し、
前記第２部品は、支持面を有し、
前記光ファイバは、前記第１部品の前記溝及び前記第２部品の前記支持面によって位置決めされる、請求項１に記載された光接続デバイス。
【請求項３】
前記第１部品は、前記溝を終端させる段差を有し、
前記第１部品の前記内部分は、前記第１軸の方向に配列された第１エリア及び第２エリアを有し、
前記段差は、前記第１エリアを前記第２エリアに繋ぐ傾斜面を有し、
前記第２部品は、前記第１エリア上に位置し、
前記光ファイバは、前記ホルダの前記第１部品の前記第１エリアと前記第２部品との間を延在する第１ファイバ部分と、前記ホルダの前記第２エリアを延在する第２ファイバ部分とを有する、請求項２に記載された光接続デバイス。
【請求項４】
前記光ファイバは、前記第１軸及び前記第２軸に交差する第３軸に交差する第１基準面に沿って配列され、
前記ホルダは、前記第１基準面に交差する第２基準面に沿って延在する前端面を有し、

前記第１部品及び前記第２部品は、前記前端面から前記第１軸の方向に延在し、
前記光ファイバは前記前端面に位置する端部を有する、請求項１～請求項３のいずれか一項に記載された光接続デバイス。
【請求項５】
前記光ファイバは、前記第１軸及び前記第２軸に交差する第３軸に交差する第１基準面に沿って配列され、
前記ホルダは、前記第１基準面に傾斜する第２基準面に沿って延在する前端面を有し、
前記光ファイバの各々は、前記前端面に位置する端部を有し、
前記光ファイバの各々は、前記第３軸に交差する第３基準面に沿って延在すると共に前記光ファイバの各々のコアから離れたクラッド側面を有し、
前記光ファイバの各々は、前記第１軸に交差する第４基準面に沿って延在すると共に前記端部から離れたクラッド端面を有する、請求項１～請求項３のいずれか一項に記載された光接続デバイス。